



訪問診療・往診専門

医療法人 **かさまつ在宅クリニック**



かさまつ通信

No.44

令和6年11月

2024年の秋

当クリニックも10月1日に12周年を迎えることができました。

「かさまつ通信」の新しいコーナーを始めました。お楽しみ頂ければ幸いです。

① 外気温低下

秋といえども、まだまだ暑い日は続いています。季節の変わり目の感冒や秋のアレルギーには注意が必要です。インフルエンザやコロナ感染症にも注意が必要です。

② 徳島発の新薬

新聞報道でありましたように、筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対する薬が近日発売されます。ALSは、治療が確定していない難病ですが、徳島大学病院が中心となって研究を続けられ、新薬として承認されました。徳島発のお薬です。(エーザイホームページをご参照ください)

③ 認知症施策普及・啓発推進月間が終了

今年も数々の認知症に関するイベントが各地で開催されました。なかでも認知症新薬の話題が中心であったかと思えます。レカナマブという新薬の他にドナマブという認知症の薬も近々国内でも発売予定です。認知症医療は、近年飛躍的に進化を続けています。今後も、気になる医療に関する話題を提供させていただきます。(院長 笠松 哲司)

Eisai

News Release

No.24-69 2024年9月24日
エーザイ株式会社

「ロゼバラミン[®]筋注用25mg」（一般名：メコバラミン）について、
日本において筋萎縮性側索硬化症用剤として製造販売承認を取得

エーザイ株式会社（本社：東京都、代表執行役 CEO：内藤晴夫）は、本日、筋萎縮性側索硬化症用剤「ロゼバラミン[®]筋注用25mg」（一般名：メコバラミン）について、日本において「筋萎縮性側索硬化症（ALS）における機能障害の進行抑制」の効能・効果で、製造販売承認を取得したことをお知らせします。本剤は、2022年5月に希少疾病用医薬品に指定され、2024年1月に承認申請を行い、今回の承認取得に至りました。

本承認は、国立大学法人徳島大学（以下、徳島大学）の梶龍兒特任教授（主任研究者）、徳島大学大学院医歯薬学系研究部臨床神経科学分野 和泉唯信教授（治験調整医師）、および千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学 藤原聡教授（治験調整医師）らの研究チームが医師主導治験として実施した、ALS患者様130人を対象とした多施設共同、プラセボ対照、二重盲検、無作為化臨床第Ⅲ相試験（The Japan Early-Stage Trial of Ultrahigh-Dose Methylcobalamin for ALS: 以下、JETALS）の結果に基づいています。

新コーナー 本のご紹介



「神様のカルテ」でおなじみの夏川草介さんの最新作です。人の命の在り方を丁寧に描いた現役医師の作品です。超一流の消化器内科医であり、往診医でもある主人公の雄町哲郎を通して語られる哲学的な言葉に考えさせられます。～「たとえ病が治らなくても、仮に残された時間が短くても、人は幸せに過ごすことができる、できるはず、・・・(本文より抜粋)」～私が日々考えている内容を言語化してくれています。往診の場面も多くできます。医療従事者にも読んで頂きたい本だと思いました。ソフトな文体ですので、秋の夜長に一気に読める、おすすめの一冊です。





訪問診療・往診専門
医療法人 **かさまつ在宅クリニック**

かさまつ通信

No.44

令和6年11月



今年も残すところ、ほぼ1カ月半になりました。今日11月7日は立冬で、東京と近畿地方では木枯らし1号が観測されたそうです。徳島も、強い風が吹きましたね。つい先日まで真夏日だったのに、急な寒暖差で体調を崩す方が増えています。猛暑の夏から、秋を乗り越えてすぐに冬になりそうです。どうぞ体調管理にはお気を付けください。

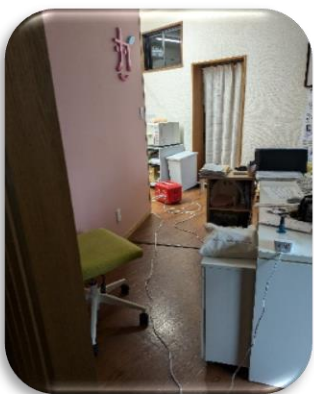
さて、先月末のとある日の午後、クリニックでは事件が起きました。突然、クリニック内でまだら停電の状態になったのです！部屋ごとに電灯が点いたり点かなかったり、PCの電源が落ちたり…。事務作業を行う1階はほぼ全滅で、受付のPC、電話、コピー機兼FAX、WiFiルーター、冷蔵庫など全てダウンしました。もちろん電子カルテはクリニック内全て使えなくなりました。

ブレーカーは落ちていなかったのですが、原因が判らず。とりあえず復旧するまでの間、まずは電話を使えるようにしないと患者さんからの問い合わせがあったときに困るよね、ということで、ポータブル蓄電池に電話の電源を繋ごうとしたのですが、受付デスクの足元には複数のコンセントが混在（オンライン資格確認用の機器や、デスクトップPCなど多数）！！白一色のアミダくじみみたいな配線の中から、ひとつずつコンセントを探して蓄電池に繋ぎ、WiFiを繋いでからノートPCで電子カルテを復活させて、入荷したばかりのインフルエンザワクチンは生き残っていた2階の冷蔵庫に移動させて…と、思いがけない災害時訓練になりました。

いろいろ調べてもらったところ、クリニックに引き込んだ電線の断線がみつき、応急処置をしてもらって夜には電気が復旧しました。災害のことばかり考えがちですが、予期せぬ停電も本当に慌てます。なんでも電子化されている昨今、短時間の停電でも全てが停止してしまいます。ポータブル蓄電池、長めの延長コードと電源タップは常備しておいて損はありません。コンセント類も、時間の余裕があるときにタグ付けしたり、ある程度まとめて電源タップごと繋ぎ変えられるようにしておいた方がいいと思いました。

これから寒く、夜も長い季節になりますので、どうぞご参考まで！

(小児科 笠松 由華)



この蓄電池1つで、午後の業務が継続できました。普段から充電しておきましょう！

〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3
HP: <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

TEL: 088-679-6393
FAX: 088-679-6394





訪問診療・往診専門
医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.44

令和6年11月

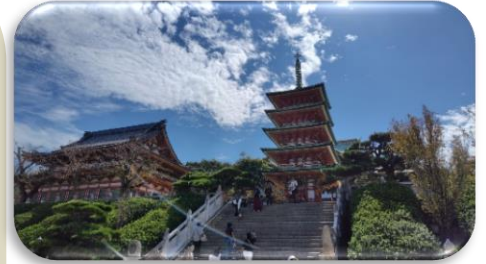


『日日是好日（にちにちこれこうにち）』

いつも心にとめていた言葉です。その一日がいい日になるか悪い日になるかは心の持ち様で変わってくることで、実は毎日がよい一日であるということ。（注：色々な漢字の読み書きが、また解釈があります）

自身や家族の日々とともに、少し大きな話になってしまいますが、在宅で過ごされる皆様がよい一日を過ごせるように、小さいことでも関わっていただけると幸いです。

先日訪れた、しまなみ海道の島で珍しい色のかわいいポストを見つけました。地域活性化の取り組みの一つで、島の特産物から「幸せのレモンポスト」と名付けられているそうです。偶然遭遇しただけに、ちょっと得した気分になりました。徳島なら…グリーンのポストになるのでしょうか。（薬剤師 宮田）



ずいぶん昔のことですが、我が家の四兄弟の話を書かせて下さい。今では珍しい男子4人です！！

思い出すことはご飯のことがほとんどなのですが、食欲真っ盛りの頃は、お米 30kg が 20 日間で無くなっていました。作っては片付け、また作る！！夕飯が終わるとホッとしました。唐揚げは鶏肉 2kg、ギョーザは 100 個ぐらい作っていました。冬場のお鍋はだしの一滴も残らない、まさに完食でした。高校生になるとお弁当！これまた大変で、毎朝一升のお米を炊いていました。好き嫌いがなかったので、おかずに不満を言われることなく、とにかく量重視でたくさん作っていました。パンも好きなだけ食べさせると恐ろしいことになるので、ホームベーカリーでカレーパンやウインナーパンを作っていました。

どうやって育てたんだろう？と思い出せないことも多々あり残念ですが、時に懐かしいエピソードが甦り、ひとりでニマリしています。（看護師 高橋）

長い夏も終わり、キンモクセイの香りが漂う過ごしやすい季節になりました。

さて先日、サンポートホール高松で行われたコンサートへ行ってきました。まず驚いたのが施設の素晴らしさです。音響も良く、高松駅から近く、駐車場も地下 1 階、2 階と十分な台数が確保されており、とても便利でした。徳島にも早くこのような施設ができて欲しいものですが、いつになることやら。

「エビバデ！さあ、頑張ろうぜ！」とパワフルな歌詞にたくさん元気をもらい、充電完了。また年末年始が近づき、気忙しくなってきましたが、息抜きしながら過ごしていきたいですね。（事務 坪内）

